

# 新発田竹俣特別支援学校 職業教育シラバス

～高等部を中心に～

## 1 学校経営の重点と方策

目の前の生徒から考え、学ぶことを常に基本とし、その子の笑顔、その子の自己実現のために何をすべきかを、複数の人たちと協議し、それぞれが考え協議する（思いを理解）する中でよりよい支援に努めていく。

### (1) 一人一人の自己実現に向けた教育課程の編成

- 生徒の実態・社会の変化に対応した教育課程の見直し
  - ・卒業後の生活を見据え、指導計画・内容の具体化を図る。
  - ・子どもたちの学習、活動意欲を引き出す指導形態を工夫する。
  - ・地域と結びついた体験学習を工夫（交流及び共同学習等）する。
  - ・日々の授業や研修の充実（関係機関との連携）を図る。

### (2) 関係機関との連携とネットワークの構築

- 地域の学校、施設、人、自然など地域資源との有機的な関係の構築
  - ・学校、福祉、行政機関との連携による多面的支援の実施を図る。
  - ・「地域の子は地域で」の思いを共有できる支援体制の構築を図る。
  - ・全県の特別支援学校進路指導主事との連携強化を図る。
  - ・幼保、小・中学校との連携による就学支援体制の充実を図る。

### (3) 開かれた学校づくりの推進

- 地域を大切にす教育活動の推進
  - ・学校教育活動の積極的な公開を図る。
  - ・地域資源（人、物、自然）を活用する教育活動の工夫を行う。
  - ・教育相談、研修会等の専門的支援による、センター的役割の充実（特別支援教育の推進、療育支援、子育て支援、等）を図る。
  - ・ホームページ等による理解啓発活動の推進を行う。

## 2 学部目標

- 自ら活動に取り組み、課題をもって目標に向け努力する。
- 対話を通して他者との適切な関係を築き、社会との関わりを広げようとする。
- 知識、技能を身に付け、それを生かしながら自立した社会生活を目指す。

## 3 具体的方策

- 生徒の日常の様子や周囲の環境等について職員間で情報を共有し、様々な教育活動に取り組めるよう生徒の実態を見とりながら支援する。
- 日頃から確認、連絡、相談、報告を行い、職員相互に連携して支援や指導を行う。
- 生徒の進路や目標を「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」と関連させながら生徒に合った学習活動を計画していく。
- 複数の教科で、生徒の実態に合わせて複数のグループを設定し、学習活動を効果的に展開しながら、生徒に必要な知識・技能を身に付ける。

- 生徒の社会生活を見据え、意図的・計画的に人や社会と関わる機会を設け、福祉施設や企業での体験や校外学習を行う。
- 職業生活や社会生活に円滑に移行する力を育てるために、現場・校内実習を行う。
- 連絡帳、懇談会、進路説明会等で、保護者の子どもに対する現在及び将来の願いをよく聞き取るとともに、学校の計画や考えを丁寧に伝え、信頼関係の構築に努める。

#### 4 週授業時数

教科領域等	日常生活の指導	生活単元学習	作業学習	職業・家庭生活	体育	（国・数・英／自立活動） しなやかタイム	特別活動	総合的な探求の時間	合計
時数 （年間総時数）	6.5 (227.5)	4 (140)	6 (210)	2 (70)	5 (175)	2.5 (87.5)	4 (140)		30 (1050)

#### 5 日課表

	月	火	水	木	金
8:50	登校・着替え				
9:00	朝の運動（体育）				
9:30	朝の会（特別活動）				
9:50 ~10:40	作業	作業	作業	生活単元学習	生活単元学習
10:50					
11:40	給食準備・読書・給食（日常生活）				
12:25	昼休み				
13:00	清掃（日常生活）				
13:20 ~14:10	職業・家庭生活（二・竹） 体育（加）	体育（二・竹） 職業・家庭生活 （加）	特別活動	職業・家庭生活（二・竹） 体育（加）	体育（二・竹） 職業・家庭生活 （加）
14:20	しなやかタイム （国・数・英/自立活動）	しなやかタイム （国・数・英/自立活動）	しなやかタイム （国・数・英/自立活動）	しなやかタイム （国・数・英/自立活動）	しなやかタイム （国・数・英/自立活動）
14:45	着替え				
15:00	帰りの会（特別活動）				
15:10	下校				

## 6 職業・家庭生活の重点等

### (1) 指導の重点

- 職業生活に必要な実的な知識や技能を習得し、積極的に作業に取り組み、職場に必要な態度を身に付けることができるようにする。
- 家庭に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、生活に関する必要な能力と実践的な態度を育てる。

### (2) 具体的な方策

- 礼儀やマナーなど働くために必要なスキルや、卒業後自立して生活するために必要な技能を身に付ける。
- 地域との関わりがもてるような活動を取り入れる。
- グループ別で学習を進める。
- 外部講師を要請し、実践的な内容を行う。
- グループ別校外学習を行う。

### (3) 主な実施事項

- グループ別学習の編成と取組（二王子・竹俣・加治川の3グループ）
- 指導に関わるデータの蓄積・資料保管
- 家庭科室の使用割当表作成
- 教材・教具や必要物品の購入と管理
- 年間を通じた継続的な清掃技能の指導

## 7 作業学習の重点等

### (1) 指導の重点

- 働くことの意義を理解し、自ら作業を続けようとする意欲を育てる。
- 作業製品を作る事を通して、充実感や達成感、自己肯定感を育てる。
- 基本的な道具の扱いを理解し、日常生活で活用できる知識・技能を身に付ける。

### (2) 具体的な方策

- 見通しをもって作業が行えるように、準備・後片付け・報告など毎時間の活動の流れを一定にする。
- 分業による共同作業とする。
- 個に応じた支援具の工夫に努める。

### (3) 主な実施事項

- 個に応じた縦割りグループの編成と個人の目標を明確にした取組
- 竹俣祭等での作業製品の販売
- 7月後半に清掃練習を行い、評価場面として技能検定を受検
- 事業所や作業所・施設等で作業体験を行うための練習の実施

## 8 進路指導の重点等

### (1) 指導の重点

- 卒業後、より豊かな生活を送ることができるように「働く力」「ひとりだちする力」を養う。

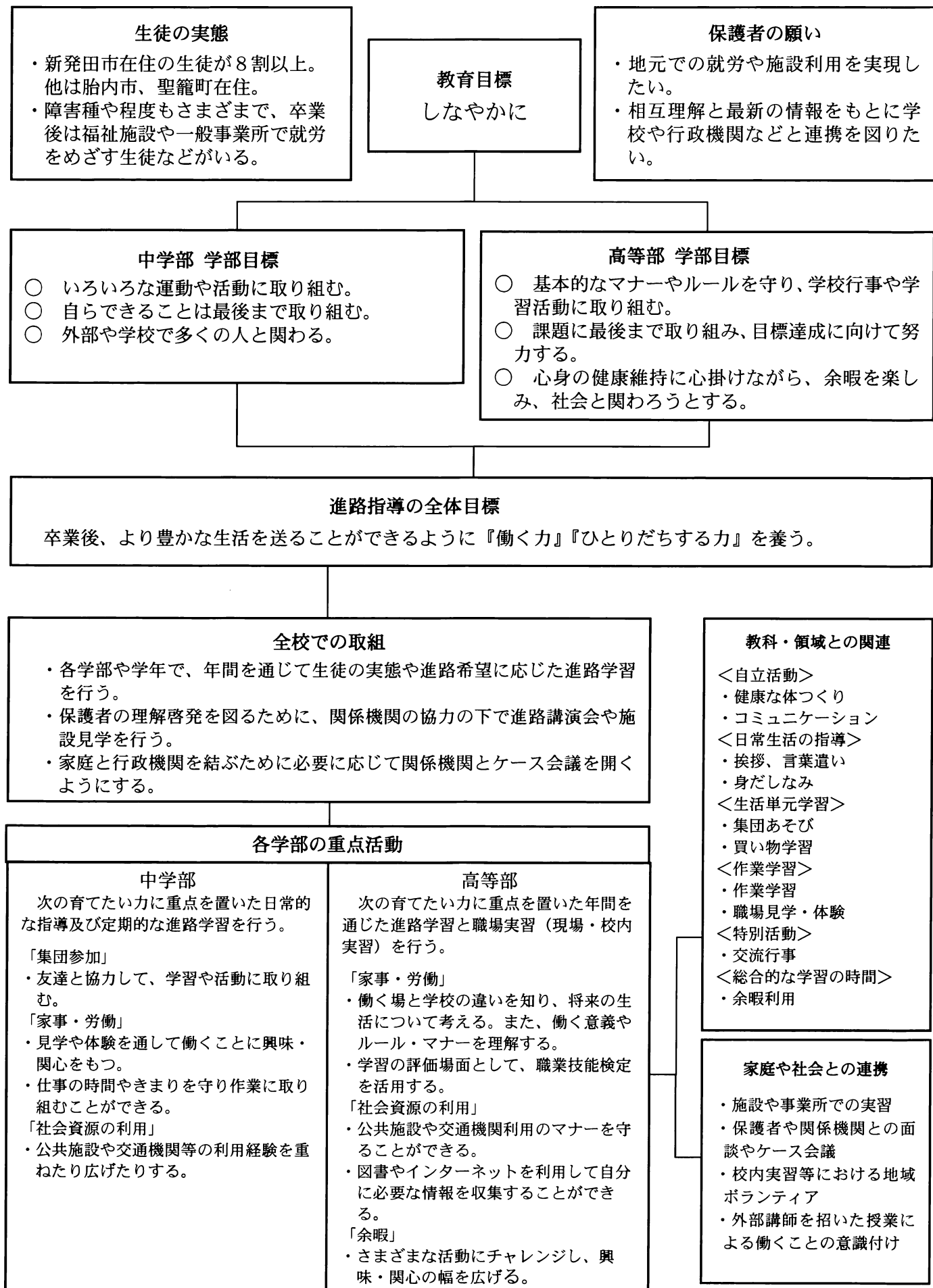
### (2) 具体的な方策

- 個々の実態に応じ、適切な支援を行い、自立する力を高める。
- 卒業後の進路を見通して、本人のできる力を高め、生き生きとした社会生活を送ることができるようにする。

(3) 主な実施事項

- 進路意向調査の実施・・・4月：全校
- 進路相談・・・・・・・・・・随時：全校  
高：個別進路相談（各学期）
- 進路講演会（保護者対象）の開催
- 職場実習（校内・現場実習・職場見学・職場体験）・・・6月、9月：高等部
- 進路説明会・職場実習説明会（高等部1年生保護者対象）
- 校内実習・・・・・・・・・・6月、9月：中学部
- 福祉施設作業体験・・・中学部
- 高等部への体験学習（報告会・作業学習）・・・中学部
- 関係機関との連携・・・資料や情報の収集、ケース会議
- 卒業生のアフターケア・・・旧担任又は関係職員
- 進路だよりの発行
- 職場開拓
- 進路研修（職員対象）・・・6月（清掃検定・進路指導）、夏季休業中（施設見学）
- 新発田市福祉担当者学校見学会
- 保護者福祉施設見学（個別）

9 進路指導の全体計画



10 「職業・家庭生活」「作業学習」の指導計画

～次頁～

高等部 「職業・家庭生活」の計画

- ① 学級等名：高等部（1学年二・竹コース）      ② 教科等名：職業・家庭生活  
 ③ 目標等：礼儀やマナーなど働くために必要なスキルや、卒業後自立して生活するために必要な技能を身に付ける。  
 ④ 年間授業時数：2時間（1単位時間は50分）＝100分

	⑤単元・題材等と ⑥授業分数(コマ数)	⑦単元・題材等 の目標	⑧単元・題材等の主な指 導内容	⑨主な活動内容	⑩備考
通 年	職業技能 (不定期)	職業生活に必要な 実的な知識 や技能を習得し、 積極的に作業や 実習に取り組み、 職場に必要な態 度を身に付ける。	・基本的な清掃指導 ・職業生活に必要な技能、 態度、意欲の指導 ・技能検定による学習成 果の確認及び評価 ・技能検定の意義の確認 ・技能検定参加ガイダ ンス	・自在ぼうき ・ダスタークロス ・モップ ・テーブル拭き ・スクイージー ・トイレ清掃 ・ビジネスマナー	・清掃用具一式  ・喫茶用具
4 月	○自分を 知る(週2)	・自分自身を知る	・家族や自分自身のこと について確認する	・住所、電話番号、生年月日、趣味、特技、将来の夢、家族のことなどについての確認、自己紹介	
5 月	○挨拶・返 事をしっか りする(週 2)	・挨拶、返事をし っかりする	・日常の挨拶、返事 ・職場での挨拶、返事	・場面に応じた挨拶や返事の練習 ・おじぎの仕方 ・ロールプレイ	
6 月	○清潔な身 なり(週2)	・身なりを清潔に 整える	・清潔な身なりの大切さ を考え、自分自身の身 なりを確認する。	・清潔度自己チェック ・清潔なハンカチ ・汚れた身なりと病気の関係 ・職場や人との関わりにおける身なりの大切さ	
7 月	○食事作り (週2) *二・竹コ ース合同	・自分で食事を作 る ＜宿泊学習に向 けたカレーライ ス作り＞	・身支度 ・材料の切り方、手順の確 認 ・後片付け ・配膳	・調理デモ ・調理実習 ・夏休み中の課題	・調理道具一式

9月	○働く (週2)	・仕事の心構えを知る ・卒業後の進路について	・働く意義 ・身近な人の仕事 ・働く上で大切なこと ・卒業後の進路について知る	・「どうして働くの？」 ・働く家族にインタビュー ・働く上で大変なこと、うれしいこと、やりがい ・福祉サービスの種類や内容について ・一般就労を目指すための心構え ・私の未来予想図	
10月	○被服 (週2)	・簡単な縫物ができる	・裁縫	・雑巾縫い ・ボタン付け ・まつり縫い	
11月	○介護 ○家の手伝い (週2)	・簡単な介護体験をしてみよう ・家の手伝い、分担について考える	・簡単な介護体験を実際にしてみる ・家での自分の役割分担や、責任の大切さについて考える	・高齢者疑似体験 ・顔拭き ・ドライヤーがけ ・車いす補助 ・家での手伝いの確認 ・手伝いの計画	・ゲストティーチャー(社会福祉協議会/卒業生)
12月	○食事作り (週2) * 二・竹コース合同	・朝ごはんを作る	・栄養のバランスや朝ごはんの大切さについて ・身支度 ・調理	・自分の朝ごはんチェック ・調理デモ(ピザパン・おかゆ・目玉焼き・みそ汁など) ・調理実習 ・冬休みの課題	調理道具一式
1月	○金銭管理 (週2)	・お金の大切さや管理の仕方を知る	・おこづかい帳の付け方 ・お金の種類や大きさ ・生活費 ・お金の大切さ	・お年玉のおこづかい帳を付けよう ・お金の種類や大きさの確認 ・1カ月の給料や生活費、費目 ・お金の貸し借り ・お金のトラブル	
2月	○健康について (週2) ○住まいについて (週2)	・健康管理の大切さを知る ・卒業後の様々な住まいの形について知る	・体調が悪い状態を知る ・具合の悪い時の適切な対応 ・社会に出てからの様々な住まいの形態について知る	・自分の体知ってる度チェック ・体温計のはかり方 ・手洗い指導(手洗いチェッカー) ・通院時の話し方 ・自宅、アパート、入所施設、グループホームなど、様々な形態の住み方、それぞれに住むための課題	・体温計
3月	○食事作り (週2) * 二・竹コース合同	・チャーハンを作る	・一人でチャーハンを作ることができる。 ・好みの具材を考えて入れる	・チャーハン作りの手順 ・調理デモ ・調理実習(簡単コース(チャーハンの素使用) or 本格コース(具材を切る)) ・春休みの課題	・調理道具一式



- ① 学級等名：高等部（1学年加治川コース）      ② 教科等名：職業・家庭生活  
 ③ 目標等：社会人として基本的な礼儀やマナーなど、卒業後個々の力に応じて自立した生活するために必要な技能を身に付ける。  
 ④ 年間授業時数：2時間（1単位時間は50分）＝100分

	⑤単元・題材等と ⑥授業回数(コマ数)	⑦単元・題材等 の目標	⑧単元・題材等の主な指 導内容	⑨主な活動内容	⑩備考
4 月	○自分を 知る (週2)	・自分自身を知ろ う	・家族や自分自身のこと について確認する	・住所、電話番号、生年月日、趣味、特技、将来の夢、家族のことなどについての確認、自己紹介 ・(実態に応じて) 家族や趣味、夢などを絵や文章で表現する	
5 月	○挨拶・返 事をしっか りする(週 2)	・挨拶、返事をし っかりしよう	・日常の挨拶、返事 ・職場での挨拶、返事	・基本の挨拶、返事の練習 ・ロールプレイ(教務室の出入りを含む)	
6 月	○清潔な身 なり(週2)	・身なりを清潔に 整えよう	・清潔な生活習慣を身に 付ける	・清潔度自己チェック ・清潔なハンカチ ・手洗い ・爪切り ・鼻ほじりや性器いじり ・バイ菌について ・清潔な生活習慣	
7 月	○食事作り (週2)	・自分で食事を作 ってみよう “フルーツヨー グルト” “おにぎり”	・身支度 ・材料の切り方、手順の確 認 ・後片付け ・配膳	・調理デモ ・調理実習 ・夏休み中の課題“チャレンジクッキング”(実態に応じて) 「おにぎりを作ろう！」	・調理道具一式
9 月	○働く (週2)	・働くって？	・様々な仕事があること を知り、興味をもつ	・どんな職業があるのかな？ ・それぞれどんな仕事かな？ ・工作中的簡単な挨拶や心構え	
10 月	○食事作り	・パフェを作ろう	・身支度 ・調理	・調理実習	調理道具一式
11 月	○被服 (週2)	・雑巾を縫ってみ よう	・裁縫	・雑巾縫い	

12月	○食事作り (週2)	・カップラーメンを自分で作ろう	・手順を覚える ・熱湯に注意をする	・調理実習 ・タイマーの操作	調理道具一式
1月	○食事作り (週2)	・電子レンジを使ってみよう	・電子レンジを使った料理(唐揚げ、お好み焼きなど)	・電子レンジを使った調理活動	調理道具一式
2月	○被服(週2)	・アイロンを掛けてみよう	・ハンカチにアイロンを掛ける	・やけどに注意 ・一人でやらない ・ハンカチにアイロンを掛ける ・たたむ	・アイロン ・アイロン台
3月	○食事作り (週2)	・お茶漬けを作る	・一人でお茶漬けを作ることができる。 ・好みの具材や味付けを考えて入れる	・お茶漬け作りの手順	・調理道具一式

- ① 学級等名：高等部（2・3学年二王子コース）      ② 教科等名：職業・家庭生活  
 ③ 目標等：礼儀やマナーなど働くために必要なスキルや、卒業後自立して生活するために必要な技能を身に付ける。  
 ④ 年間授業時数：2時間（1単位時間は50分）＝100分

	⑤単元・題材等と ⑥授業分数(コマ数)	⑦単元・題材等 の目標	⑧単元・題材等の主な指 導内容	⑨主な活動内容	⑩備考
4月	○自分を知る(週2)	・自分自身を知る	・自分の適性を知り、将来の職業について考える。	・自己理解、自己実現チェック    ・履歴書の記入 ・未来予想図	
5月	○挨拶・返事をしっかりしよう(週2)	・挨拶、返事をしっかりする	・職場での挨拶、返事、コミュニケーション	・場面に応じた挨拶、返事の練習    ・ロールプレイ	
	○人間関係(週2)	・感情の自己管理ができる ・相手の気持ちを考える	・怒りの感情の自己管理 ・様々な状況におけるロールプレイ	・どんな時にイライラするか ・怒りに対する対処の仕方    ・暴力はダメ ・まわりの人に迷惑を掛けていないか考える ・人の気持ちを考える	
6月	○身だしなみ(週2)	・清潔な身なり ・社会人としてふさわしい身だしなみ	・職場や人との関わりにおける身なりの大切さを確認する。 ・TPOを考えた服装	・清潔度チェック    ・職場における衛生面の大切さ ・清潔さを保つための方法（匂い対策、汚れ取り、漂白など） ・不潔な身なりの影響 ・マナーを考えた服装	
7月	○福祉制度・雇用に関する支援制度(週2)	・様々な福祉制度や支援制度があることを知る	・サービスや支援内容について理解し、自分の卒業後についてイメージをもつ	・サービスの種類 ・雇用に関する支援制度 ・手帳や年金について	はたらくためのガイドブック参照
	○食事作り(週2)	・自分で食事を作ろう	・ナポリタン	・身支度    ・材料の切り方、手順の確認    ・後片付け    ・配膳 ・調理デモ    ・調理実習    ・夏休み中の課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整
9月	○働く(週2)	・仕事の心構え	・職種や内容、働くことの意義 ・ビジネスマナー ・仕事のコミュニケーション	・様々な職種の仕事内容や大変なことややりがいについて ・自立した生活を送るために働くことの大切さを考える ・職場での言葉づかいや会話力、敬語、電話 ・仕事をする上での頼み方と断り方 ・ゲストティーチャーによる講義（ドラッグトップス役員の方より挨拶などの実践指導）	

10月	○被服 (週2)	・自分の衣類を整える	・裁縫 ・アイロン掛け	・並縫い・本返し縫い・半返し縫い・まつり縫い・アイロン掛け	
11月	○食事作り (週2)	・調理を始める前の基本について ・自分で食事を作ろう	・身支度や道具の扱い方、手順など ・豚汁	・身支度 ・手洗い ・調理道具の扱い方 ・ガスの使い方と注意 ・後片付けの手順 ・材料の切り方、手順の確認 ・配膳 ・調理デモ ・調理実習 ・冬休みの課題	調理道具一式 調理実習日の調整
12月	○面接に向けて(週2)	・求人情報について ・面接に向けての心構え	・求人票の見方 ・面接練習	・求人票を見て、企業が募集している仕事内容や条件などを理解する ・面接試験の準備、注意点、よく聞かれる質問について	はたらくためのガイドブック参照
1月	○携帯・スマホ・パソコン・ネット(週2)	・ネットのトラブル	・ネットの怖さやトラブルについて ・注意点やマナー	・依存症 ・メッセージツールのトラブル ・ネットを介した出会い ・個人情報 ・架空請求 ・スマホの貸し借り ・使いすぎと料金	
	○困ったことに直面した時	・困ったことに直面した時に解決しようと思えることができる	・それぞれの事例に対する対応を考え、意見を交換する	・「大事な面接の日に忘れ物をしてしまった」 ・「友達が万引きしているのを見てしまった」 ・「自転車でぶつかって、人のものを壊してしまった」	
2月	○食事作り (週2)	・自分で食事を作ろう	・ラーメン	・身支度 ・材料の切り方、手順の確認 ・後片付け ・配膳 ・調理デモ ・調理実習 ・冬休みの課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整
3月	○将来の私 (週2)	・将来の計画を立てる力を身に付ける	・将来、自分がどんな大人になっているかイメージし、表現する	・言葉やイラストで、将来自分がどんな大人になっているか想像して描いてみる ・“10年後の私へ”というタイトルで自分あてに手紙を書く	
	○困ったときの相談窓口(週1)	・こんな時はここに相談しよう！	・困った時は、一人で悩まずまわりの人に相談する ・専門の相談窓口があることを知る ・座右の銘	・仕事や生活、健康、お金、人間関係など困った時にはどこに相談すればよいのか知る。連絡先の確認。 ・相談の仕方や方法(ロールプレイ) ・パソコンで調べながら自分が好きな言葉を探す	

- ① 学級等名：高等部（就労等をめざすコース2・3学年 竹俣コース）      ② 教科等名：職業・家庭生活  
 ③ 目標等：礼儀やマナーなど働くために必要なスキルや、卒業後自立して生活するために必要な技能を身に付ける。  
 ④ 週授業時数：2時間（1単位時間は50分）＝100分

	⑤単元・題材等と ⑥授業回数(コマ数)	⑦単元・題材等の 目標	⑧単元・題材等の主な指 導内容	⑨主な活動内容	⑩備考
通 年	職業技能 (不定期)	職業生活に必要な 実的な知識や技 能を習得し、積極 的に作業や実習に 取り組み、職場に 必要な態度を身に 付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な清掃指導</li> <li>・職業生活に必要な技能、 態度、意欲の指導</li> <li>・技能検定による学習成果 の確認及び評価</li> <li>・技能検定の意義の確認</li> <li>・技能検定参加ガイダンス</li> <li>・作品展での喫茶経営に向 けた指導</li> <li>・職業生活に必要な技能の 指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自在ぼうき ・ダスタークロス ・モップ ・テーブル拭き</li> <li>・スクイージー ・トイレ清掃</li> <li>・接客サービス</li> <li>・ビジネスマナー ・介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃用具一式</li> <li>・喫茶用具</li> <li>・車椅子</li> </ul>
4 月	○自己紹介 をしよう	・自分自身を知る	・友達と自己紹介をしあ う。	・住所、電話番号、生年月日、趣味、特技、将来の夢、家族の ことなどについて確認し、自己紹介ができる。	
5 月	○挨拶・返事 をしっかり しよう	・場に応じた挨拶 や返事ができる	・挨拶、返事の練習をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じた挨拶、返事の練習</li> <li>・ロールプレイ</li> </ul>	
	○敬語を使 おう	・丁寧な言葉遣い や場に応じた話し 方ができる	・丁寧な話し方や敬語の使 い方を練習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイ</li> <li>・丁寧な話し方の練習</li> <li>・敬語の種類や使い方の練習</li> </ul>	
6 月	○清潔な身 なり	・清潔な身なりの 大事さを知る	・清潔な身なりの大切さを 考え、自分自身の身なりを 確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔度自己チェック ・清潔なハンカチ ・手洗い、うがい</li> <li>・汚れた身なりと病気の関係</li> <li>・不潔な身なりの影響</li> </ul>	
7 月	○お茶を入 れよう	・急須でお茶を入 れることができる	・急須でお茶を入れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶を入れる手順の確認</li> <li>・茶葉やお湯の適量を知る</li> <li>・実践 ・片付け</li> </ul>	

	○調理	・自分で食事を作る	・お茶漬け ・冷やしうどん	・教師による調理デモを見て手順を確認する ・身支度 ・調理実習 ・後片付け ・夏休み中の課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整
9月	○洗濯	・靴を洗うことができる	・自分の靴を洗う	・手順確認 ・実践	
10月	○身だしなみ	・身だしなみに気を付けることができる	・洗顔や整髪のやり方を知る	・洗顔（洗顔フォームで顔を洗う・化粧水を付ける） ・整髪（寝癖を直す・ブラシで髪をとかす・ワックスで髪型整える）	
11月	○調理道具を上手に使う	・調理道具を活用する	・缶切りの使い方を学習する	・缶切りを使って缶を開ける練習をする（空き缶を利用） ・缶切りで缶詰を開ける	
12月	○調理	・簡単な料理を作ろう	・ホットサンドを作る	・教師による調理デモを見て手順を確認する ・身支度 ・調理実習 ・後片付け ・冬休み中の課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整
1月	○被服	・アイロンを掛けることができる	・ハンカチにアイロンを掛ける	・ハンカチにアイロンを掛ける	
		・簡単な裁縫ができる	・波縫い、ボタン付けをする	・雑巾縫い ・ボタン付け	
2月	○安全に暮らそう	・防災について知る	・身近な災害に備えることができる	・防災グッズ作り ・備蓄品リストの作成 ・防災カルタ	
3月	○調理	・簡単な料理を作ることができる	・おにぎらずを作る	・教師による調理デモを見て手順を確認する ・身支度 ・調理実習 ・後片付け ・春休み中の課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整

- ① 学級等名：高等部（2・3学年加治川コース）      ② 教科等名：職業・家庭生活  
 ③ 目標等：礼儀やマナーなど働くために必要なスキルや、卒業後自立して生活するために必要な技能を身に付ける。  
 ④ 年間授業時数：2時間（1単位時間は50分）＝100分

	⑤単元・題材等 ⑥授業回数(コマ数)	⑦単元・題材等 の目標	⑧単元・題材等の主な指 導内容	⑨主な活動内容	⑩備考
通 年	身辺整理等 (不定期)	生活に必要な基本的な知識や技能を習得し、自立した生活ができるよう様々な学習活動に取り組む。	・家庭生活に必要な技能の指導 ・身支度や身辺整理に関する指導	○家庭生活 ・洗濯 ・清掃活動 ○身辺整理 ・着替え、授業の準備 ・挨拶	
4 月	○自分を知る(週2)	・自分自身を知る	・家族や自分自身のことについて確認する	・住所、電話番号、生年月日、趣味、特技、将来の夢、家族のことなどについて確認し、自己紹介ができる。	
5 月	○挨拶・返事をしっかりしよう(週2)	・挨拶、返事をしっかりする	・日常の挨拶、返事	・場面に応じた挨拶、返事の練習      ・ロールプレイ	
	○一日の生活(週2)	・一日のスケジュールを見直す。 ・休日の過ごし方	・自分の生活を振り返る	・一日の生活の流れを書き、自分の生活を見直す	
6 月	○清潔な身なり(週2)	・清潔な身なり	・清潔な身なりの大切さを考え、自分自身の身なりを確認する。	・清潔度自己チェック    ・清潔なハンカチ    ・手洗い、うがい ・汚れた身なりと病気の関係	
7 月	○食事作り(週2)	・自分で食事を作ろう	・インスタント食品 ・電子レンジ料理 (からあげ、冷凍ごはん、レトルトカレー等)	・身支度      ・材料の切り方、手順の確認 ・後片付け      ・配膳      ・調理デモ ・調理実習      ・夏休み中の課題	・調理道具一式 ・調理実習日の調整

9月	○働く (週2)	・仕事の心構え	・いろいろな仕事 ・挨拶、返事、会話	・学校や身の回りの人たちの仕事を知る ・社会人として基本的な挨拶や返事、場面に応じた会話の練習など		
10月	○おやつ作り (週2)	・自分でおやつを作ろう	・たこやきパーティーなど簡単にできるもの	・身支度 ・後片付け ・調理実習	・材料の切り方、手順の確認 ・配膳 ・調理デモ	・調理道具一式 ・調理実習日の調整
11月	○食事作り (週2)	・季節の料理を作ろう	・さつまいも料理 ・おにぎり ・栗ごはんなど	・身支度 ・後片付け ・調理実習	・材料の切り方、手順の確認 ・配膳 ・調理デモ ・冬休みの課題	調理道具一式 調理実習日の調整
12月	性について (週2)	・自分や他の人の心や体を大切に する	・人を好きになること ・相手を思いやること	・相手が嫌がることをすると犯罪（ストーカー行為など）		
1月	○義務と権利について (週2)	・成人になったら できること	・成人の義務や権利 ・成人になったらできる こと	・選挙について ・年金や納税について	・成人になったらできること	
	○身だしなみ (週2)	・社会人としてふさわしい身だしなみができる	・TPOを考える ・大人の身だしなみ ・おしゃれを楽しむ	・TPOファッションクイズ	・洗顔 ・爪切り	
2月	○食事作り (週2)	・自分で食事を作ろう	・自分で作る「ラーメン」	・身支度 ・後片付け ・調理実習	・材料の切り方、手順の確認 ・配膳 ・調理デモ ・冬休みの課題	調理道具一式 調理実習日の調整
3月	○困ったときの相談窓口	・こんな時はここに相談しよう！	・困った時は、一人で悩まずまわりの人に相談する ・専門の相談窓口があることを知る	・仕事や生活、健康、お金、人間関係など困った時にはどこに相談すればよいのか知る。連絡先の確認。 ・相談の仕方や方法（ロールプレイ）		



高等部 「作業学習」の計画

- ① 学級等名：高等部
- ② 教科等名：作業学習
- ③ 目標：○自ら作業を続けようとする意欲を育てる。  
○作業製品を作る楽しさが味わえるようにする。  
○購入(納入)者に喜ばれる製品作りを意識するようにする。
- ④ 方策：○自ら作業が続けられるように、準備・後片付け・報告など毎時間の活動の流れを一定にする。  
○作る喜びが味わうことや製品の品質向上をねらうことができるように、個に応じた支援具の工夫に努める。
- ⑤ 年間授業時数：週6時間(1単位時間は50分計算)=99日(1日2単位時間) 198時間

		主な活動内容	備考
A	紙工芸班	●紙工(はがき、名刺、しおり、一筆箋) 紙すき、アイロン、カット、模様付け(スタンプ、型抜き貼り、印刷、シール貼り等) ラッピング	ミキサー、カッター、穴開けパンチ、紙すきセット、はさみ、のり等
B	手工芸班	●木工(アクセサリー、カードスタンド、コルクボード、鍋敷き) 木片カット、グラインダー、やすり、ニス、穴開け、ワイヤー加工、接着等 ●羊毛加工(毛虫マスコット、キーホルダー等)羊毛丸め、穴開け、針金加工、組み立て、縫い付け、ラッピング ●布加工(ティッシュボックスカバー、巾着、等)カット、ミシン ●アイロンビーズ	各種木工・手芸用具
C	園芸・サービス班 (2, 3年生)	●野菜栽培 令和元年度実績(ジャガイモ、ニンジン、カボチャ、枝豆・大豆、トウモロコシ、ブロッコリー、大根、白菜、カブ、キャベツ、玉ネギ、長ネギ、ニンニク、キウイフルーツ、サツマイモ、シイタケ等) ●野菜出荷調整、販売活動等 ●調理活動(芋パイ、カボチャパイ、ポップコーン、焼き芋等) ●清掃(スクイジー窓ふき、台ふき、トイレ掃除、自在ぼうき、モップ)、除雪作業等 ●検定(清掃、ワープロ、アビリンピック等) ●地域農家様との交流実習(農作業、環境美化活動等) ●高等学校との交流実習(野菜収穫、販売活動等) ●デュアル実習(日本アスモフ株式会社様、セブンイレブン川東店様) ●喫茶サービス	耕耘機、農作業用具一式、苗、肥料等 出荷袋、結束テープ、シール調理用品 清掃用具一式  新発田農業高等学校様 コミュニティバスの利用 竹俣祭関連
D	リサイクル班	●リサイクル封筒作り ●お飾り作り(受託作業、鏡餅飾りの袋詰め)	点字用紙、のり、はさみ等 お飾り(株式会社宏和様)